

国費（大使館推薦・中国赴）大学院外国人研究生 出願資格・追加提出書類等

専門分野	出願資格等	追加提出書類
全専攻	本研究科では、研究生（非正規生）として受入れる。 これは、正規課程（修士課程・博士課程）への入学を確約するものではない。 正規課程への進学を希望する場合、大学院入学試験を受験しなければならない。 本研究科では、日本語を主言語として、教育・研究指導を行っているため、日本語能力試験N1合格以上の日本語能力を有することが望ましい。 大使館による第1次選考合格後、次のウェブサイトを参照し、申請すること。 国際交流室（日本語のみ） https://www.l.u-tokyo.ac.jp/oiss/index.html	
言語学		出願者には出身大学に提出した卒業論文（コピーでも可）または、日本語で8,000字程度のこれまでの研究の報告の提出を求める。卒業論文の使用言語が日本語でない場合には、日本語による8,000字程度の抄訳を添えること。
倫理学	西洋・東洋・日本の倫理思想史についての基礎的知識と倫理学の基本問題に関する思考力を要する。	
日本語日本文学	日本語の高度な読解能力が要求される。また専門分野の基礎知識に関しては、直接の研究領域以外についても、広く日本の高等学校卒業程度以上の学力が要求される。	①現在までの研究経過と、大学院外国人研究生としての研究計画（日本語2,000字以上） ②研究テーマについての論文（日本語4,000字以上）
日本史学	授業理解に十分な日本語力を備え、大学で日本の歴史について研究し、卒業論文を提出したか、それに相当する学習・研究歴を有する事を要する。	①現在までの研究経過と入学後の研究計画（日本語2,000字以上） ②日本語の研究論文、あるいは自国語による研究論文とその日本語要約(4,000字以上)
中国語中国文学		過去の研究の報告と今後の研究の具体的計画について4000字程度の日本語の小論文の提出を求める。
現代文芸論	世界の文学を幅広く視野に入れ、現代的な観点から文学・文化を研究する能力が求められる。	
アジア史	原則として大学教育において歴史学の専門教育を受け、アジアの歴史に関する論文を作成した経験を要する。	
社会心理学	1）心理学関連の学術論文を十分に理解する程度の英語能力を有すること。2）大学教育において実証研究の方法論的基礎を身につけていることが望ましい。	大学院外国人研究生としての研究計画を日本語で1,500字以上で説明したものを添付することを求める。
上記以外の専門分野	上記「全専攻」参照	